福山市議会・水曜会
ゆうすけ通信
令和４年８月号
vol.22
発行責任者／福山市議会議員 大田 祐介
後援会事務所／〒720-0825
福山市沖野上町3-6-33
TEL:084-932-7855
FAX:084-921-8801

市議会・水曜会の会長として

コロナ禍の令和2年5月～令和3年5月の間、第68代市議会副議長を務め、今年5月からは最大会派「水曜会」の会長に就任しました。水曜会は37人の議員のうち14人が所属し、議会運営をリードする立場にあります。私は議会運営委員会の委員長にも就任し、議会運営における潤滑油の役割を果たさなければなりません。

また、今年度は福山市監査委員に選任されました。監査委員は福山市の財政状況を公認会計士らと詳細にチェックし、問題点を指摘する重要な役職です。私はかねてより公会計の複式簿記化を訴えてきましたので、監査委員は待望のポストです。

さらに市民に対して議会の役割や審査内容等をお知らせする「議会報告」運営委員会の委員長にも就任しました。より身近な議会を目指して開催方法や対象者について協議してまいります。

常任委員会は建設水道委員会に所属し、引き続き芦田川河口堰開放に取り組んでまいります。特別委員会は地方創生調査特別委員会に所属し、今後建設予定の「こども未来館」について様々な提案を行うつもりです。

以上のように多くの重責を担うこととなりましたが、持ち前のパワーで乗り切るつもりです。皆様のご支援をよろしくお願いします。

マイナンバーカードについて

6月議会にて市長からマイナンバーカード取得者に対する5,000円分のポイントの付与、総額23億4千万円の補正予算の提案がありました。福山市民のカード取得率37%は県内市町最低、中核市の1位の宮崎市は57%ですから、大きな差です。

そこで9月頃より年度末までに全市民にカードを取得してもらいたいと、46万人（既取得者も含む）×5,000円＝23億円という予算計上となりました。まだまだ取得するメリットの少ないカードですが、将来的に必要不可欠なカードになるよう要望して賛成しました。

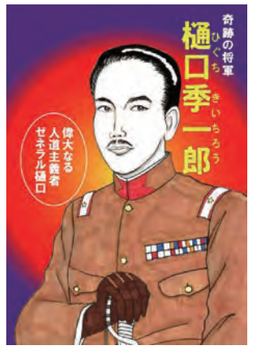
郷土ゆかりの偉人 樋口季一郎

昭和8年～福山41連隊長、昭和12年～ハルビン特務機関長「オトポール事件」にて多くのユダヤ難民の命を救う。ソ連から北海道を守った南樺太や占守島の戦いも指揮した。

●●● 漫画「奇跡の将軍･樋口季一郎」 定価220円 啓文社･後援会事務所にて発売中 ●●●

樋口隆一氏 講演会「祖父の北海道防衛とウクライナ情勢」

日時 **8月20日（土）** 16時～17時30分
会場 備後護国神社・参集殿
会費 1,000円（予約不要、当日徴収）



山野峡ワイン 私の地方創生の政策実践の成果です。 日曜日は ワイナリー前朝市 も開催中、ぜひお越しください。
https://yamano-wine.com/

大田ゆうすけホームページ http://www.kkochan.com/
メルマガ配信希望の方は orion@urban.ne.jp へ
お名前の間違い・転居等による変更、配信不要の方はご一報ください。

水曜会
第57号
令和４（2022）年４月発行
発行者 福山市議会 水曜会
住 所 〒720-8501 福山市東桜町3番5号
電 話 084-928-1123
ＦＡＸ 084-920-1104
ばらのまち福山

三月定例市議会

本会議では、令和四年度の一般会計予算案や、令和三年度一般会計補正予算案などの議案を賛成多数で可決しました。またロシアによるウクライナ侵略を強く非難する決議案は全会一致で可決しました。

一般会計はコロナ禍の中、過去最大規模の１９６８億４０００万円

福山市議会 水曜会

市民生活に関連の深い一般会計は、１９６８億４０００万円で、前年度比11・４％増。令和三年度に続いて「コロナウイルス感染症対策の強化」「都市魅力の創造」「人口減少対策の強化」の３つの柱と、これらを支える基盤となる「デジタル化の推進」を重点的に進める予算です。

歳出では、最優先するコロナ対策に、ＰＣＲ検査体制の強化や、市民生活や社会経済活動の支援などに計９億２６００万円です。

都市の魅力づくりでは福山駅周辺の再生や防災対策が進められます。

令和４年度 予算状況

		前年度比
一般会計	1,968億円余	11.4%
特別会計	963億円余	3.7%
企業会計	705億円余	8.3%
合　計	3,636億円余	8.7%増

令和４年度の主な新規事業・継続事業

○新型コロナウイルス対策	
・離職者の緊急雇用	3,294万円
・ＰＣＲ検査の検体採取委託	1,020万円
・酸素濃縮装置の整備	660万円
○中心市街地・経済対策	
・福山駅前広場の基本方針の策定など	3億7,535万円
・初心者用スケボー施設の整備	6,700万円
・福山駅周辺の喫煙所設置など	2,055万円
・水資源の増加に向けた調査	900万円
・中小企業への補助（SDGs）	500万円
○デジタル化の推進	
・「書かない窓口」システムの導入	2,680万円
・スマート保育の推進	2,240万円
・タブレット端末配備など（民生委員）	845万円
・スマートロックの導入（公共施設）	692万円
○子育て支援・人口減少対策	
・医療的ケア児保育の充実	4,288万円
・こども発達支援センターの医師増員など	2,396万円
・移住支援金の創設	500万円
・育児短時間勤務の利用促進（男性）	60万円
○医療・福祉	
・市民病院の建て替えなど	15億3,258万円
・認知症高齢者の賠償責任保険料の負担	128万円
○防災	
・河川整備などの浸水対策	72億2,922万円
・森林の防災対策	3,524万円
・防災情報システムの導入	1,000万円
○文化・観光	
・福山城築城400年記念事業	11億2,414万円
・世界バラ会議に向けた環境整備など	4億3,229万円
・鞆地区の交流拠点整備など	5,372万円
○教育	
・市立福山高の屋内練習場整備など	5,847万円

福山城 令和の大普請

福山城の大規模改修に７億６２００万円、抜本的な浸水対策として、河川整備など下水道事業会計を含め１１２億円余です。

人口減少対策では、妊娠から出産、子育てまでを支援する福山版ネウボラに積極的に取り組み、デジタル化の推進では、産業・地域・行政の支援などに９億５７００万円です。

市税収入は、前年度比60億円余の増加

歳入の根幹をなす市税は、中小事業者等に対する軽減措置の終了に伴う固定資産税の増に加え、給与所得の伸びや企業収益の拡大による個人・法人市民税の増により前年度比約60億円増の約７４７億円です。

市債発行額は、２６４億３０００万円で過去最大。市民一人あたりの市債残高は34万７０００円となり、目安とする35万円を下回ります。

また、財政調整基金は財源不足を補うため、４億５０００万円を取り崩し、残高は約１４８億円を見込んでいます。

一般会計の賛成討論要旨

令和四年度予算は「安心と希望のための挑戦予算」であり「ふくやま未来創造ビジョン」に掲げるデジタル化の推進を基盤に、重点施策である新型コロナウイルス感染症対策の強化、都市魅力の創造、人口減少対策の強化を３つの柱に約４１９億円を計上しています。

市民生活の安心・安定に直結し、新たな都市魅力づくりに向けて効率的な市政運営と積極的な予算執行に努めることを要望し、本予算に賛成しました。

水曜会 代表質問

早川佳行議員

水曜会 一般質問

連石武則議員

石田 実議員

火事に遭遇

火災後の愛車ホンダ・ゴリラ

経済リポート R4年2月1日号掲載
「祐介の目」

大阪北新地のビル放火事件、容疑者死亡により迷宮入りとなった。何とも後味の悪い事件だが、私が36年前に遭遇した火事と共通点がある。

高校卒業を目前とした新春、私は愛車（ホンダCB50S）を行きつけのバイク屋に預けて放課後毎日のように寄り、自然と常連さんとは顔なじみになっていた。中でも当時最新鋭のTZR250に乗るAさんに対してはうらやましい気持ちで一杯だった。雇われ店長のZさんは高校生が店に入り浸っていても気にしなかったし、私をバイク整備のアシスタントにしていた。

店はうなぎの寝床の様な細長い構造で、寒いので石油ストーブを焚いて整備をしていた。AさんのTZRのガソリンタンクを取り外した際に漏れたガソリンに引火！Zさんは店の表へ逃げたが、Aさんは店の奥に逃げた。店の奥はトイレと流しで行き止まりとなり、窓には格子がはまっていた。Aさんは必死で格子窓を破ろうとしたが煙にまかれ亡くなった。幸い私は不在だったが、預けていた愛車は焼けてしまい、火災現場にかけつけた際のZさんが「大田君、ごめんよ！ごめんよ！」と泣きながら絞り出した声は忘れられない。

十数年後、私は職場の防火管理者に選任され、消防署で講習を受けた。そこであのバイク屋火災が事例として提示されたのだ。そして衝撃の事実！Aさんが破ろうとした格子窓の下には地面すれすれに隙間があり、そこを蹴破れば脱出できたかもしれなかったという事。建物はプレハブ造りで古く、壁の下部が腐食して穴が開いていた。教訓としては、火災の際は伏せてなるべく地表の空気を吸うこと、最後まであきらめず脱出口を探すこと、の2点だった。

その後、私の職場の病院に搬入される重度火傷の患者を多数見たが正視できない残酷な光景だった。病院で患者に吸わせる酸素は可燃性ガスだし足の悪い患者は自力で避難できないので、防火管理者として避難訓練や防火設備点検は真剣に実施した。皆様、火の用心くれぐれも念入りに。

戦艦大和秘話

建造中の戦艦大和

経済リポート R4年3月1日号掲載
「祐介の目」

建国記念の日、ノンフィクション作家・門田隆将氏の講演会で大和と福山市出身者の数奇なご縁を拝聴した。駅家町大橋出身の三上作夫中佐は連合艦隊作戦参謀であり、大和と三千人の乗員の運命を左右したキーマンだった。

マッカーサーが上陸したレイテ島に連合艦隊の総力を挙げて殴り込みをかけたレイテ沖海戦、これは大和の46㎝主砲が敵艦隊に向けて火蓋を切った唯一の戦いであり、世界史上最大の艦隊決戦だった。大和がレイテ突入に逡巡した際に「天祐を確信し全軍突撃せよ」という有名な命令を打電したのも三上参謀という。大和は突入目前で反転したが、謎の反転として戦史研究者の間で語り継がれている。もしレイテに突入していれば大和はマッカーサーと共に討ち死にし、日本の戦後史が大きく変わっていた可能性がある。三上氏は「我が海軍が真に全力を挙げて戦った事実上の最終戦であった」と回想している。

昭和20年4月、敗戦色濃厚となり三上参謀は沖縄の米機動部隊を佐世保近海におびき出して大和を含む残存兵力で撃滅する作戦を立案するも首脳部に一蹴される。代わりに沖縄に向けての水上特攻作戦を大和に伝える役目となり水上機に乗って大和に向かうが、舷側に着水する三上機を同じく福山出身の八杉康夫氏が目撃していたそうだ。大和の伊藤長官に作戦を説明するも、作戦の最終目的を問われて答えに窮する。「要するに一億総特攻のさきがけになって頂きたい」と伝えると伊藤長官は「それならわかった」と即座に納得したという。

門田氏は大和の生き残り十数人に取材を行ったが、全員口を揃えたかのように「沖縄の人を救えず申し訳ない」と言われたそうだ。無謀な作戦とはいえ命令を遂行できなかったという大正生まれの男達の責任感の重さに感銘を受けた。「私」より「公」を重んじ、戦後復興や高度経済成長を実現した世代と言える。三上氏は戦後海上自衛隊の自衛艦隊司令官等を歴任して平成8年に89歳で逝去された。

対岸の火事

島根原子力発電所

経済リポート R4年4月1日号掲載
「祐介の目」

ウクライナの惨状は対岸の火事ではない。我が国にも飛び火する可能性、すなわち北朝鮮や中国の脅威は一層高まったのではないか。近代都市がミサイル等で攻撃されるというのは初めて見る光景であり、想定外の現実だろう。

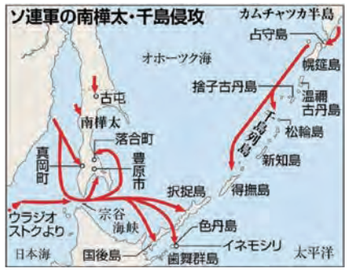
テレビを通して学ぶべき点は多くある。多くの家庭や公共施設に地下シェルターがあり、皆地下に避難していることだ。東京ならともかく福山だと地下空間など知れている。なぜ日本はシェルターの整備を怠ってきたのだろうか。また、原発が攻撃対象になっているが、弱点を狙うのは武力攻撃のセオリーであり、島根原発や伊方原発に近い福山の備えは必要ないのだろうか。

平成16年に成立した国民保護法は万一の武力攻撃や大規模テロの際に迅速に住民の避難を行う等、国県市が協力して住民を守るための仕組みである。もちろんこうした事態を招かないように、国において最大限の外交努力を行うことは当然の前提だ。しかし、万一の時に迎撃ばかりにシフトせず、常に避難など国民を守る取組みが必要だろう。キャッチフレーズは「あってはならない武力攻撃、なくてはならない国民保護」である。

東日本大震災以降、原発の災害対応の取り組みは格段に上がったと感じるが武力攻撃に対してはどうだろう。私は3月22日に島根原発の視察に行ってきたが、特定重大事故等対処施設を整備中であり、それは故意による航空機衝突やその他のテロにより炉心の著しい損傷が発生した場合に原子炉格納容器の破損による放射性物質の放出を抑制するための施設である。翌日は松江市役所を訪問し、詳細に定められた松江市国民保護計画についてレクチャーを受けた。

備えあれば憂いなしだが、万一に備えて放射線測定器も必要だ。じつはウクライナはチェルノブイリ事故以降、高性能の家庭用ガイガーカウンターを製造している。ウクライナ支援策として仕入れたのでぜひ購入していただきたい。TERRAYN 1台2万円（税込）㈱福山健康舎 問931・4572

南樺太の戦い



経済リポート R4年5月1日号掲載
「祐介の目」

4月13日の日経新聞一面のコラム「春秋」を読んで驚いた。そこには太平洋戦争で国内唯一の地上戦となったのは沖縄戦だったと書いてある。天下の日経がこんな間違いを書くとは夢にも思わなかった。

樺太は1905年のポーツマス条約により北緯50度以南が日本領となり、その後40年間にわたり紛れもない日本の領土だった。昭和20年8月9日にソ連は日ソ中立条約を破棄して、国境を超えて南下してきた。当時約40万人の在留邦人がおり、陸軍の第88師団が守りを固めていた。そしてソ連の侵略から停戦するまでの17日間に沖縄戦と同様の激闘と悲劇があった。

南樺太の戦いは日本の内地で行われた北海道防衛戦であり、民間人を巻き込んだ地上戦が随所で発生し、国境で軍の必死の抵抗で時間を稼ぎ、民間人の2割を脱出させた。その間ソ連兵からの凌辱を避けるため郵便局員が「皆さんこれが最後です、さようなら」という電報を発し集団自決したり、15歳から60歳までの男性は招集され戦闘に参加したりした。さらに避難民を満載した輸送船3隻が北海道到着目前でソ連潜水艦の雷撃を受け5千人が犠牲になった上に、捕虜となった軍人は極寒のシベリアに抑留された。

国境では殺到するソ連戦車をたった一門の大砲で32両撃破した精強部隊もいた。ウクライナの戦いがどのような結末を迎えるか分からないが、同様の戦果を挙げた部隊は末永く顕彰されるだろう。ソ連による無差別空襲、艦砲射撃により多くの民間人が犠牲になる中、ある指揮官は「我々軍人は樺太島民の為、この地を死守する。敵をこの地より一歩も入れてはならぬ。住民全員が北海道に渡るまで戦うのが、我々軍人の務めである」と部下に訓示した。

以上によりソ連・スターリンの北海道上陸作戦及び北海道の半分を占領するという野望は打ち砕かれた。77年前の日本で現在のウクライナ・ロシア戦と同じことがあったことを大新聞さえ忘れてしまっているとは誠に残念である。

マルコス大統領

永井啓三さんと

経済リポート R4年6月1日号掲載
「祐介の目」

フィリピンのマルコス元大統領の息子であるボンボン・マルコスが大統領に当選した。日本のマスコミは、マルコス元大統領は独裁者で戒厳令を敷き多くの市民を拷問し、不正蓄財をした結果、ピープルパワー革命により国外追放された云々。その息子が大統領とは・・・のワンパターン。

これでは投票したフィリピン国民は皆バカであると言っているようなものだ。なぜマルコス一族がいまだに人気があるのか、それは良いこともしたからに違いない。例えば、戦後長らく日本兵の遺骨はジャングルに放置されていたが、対日感情も悪いことから日本政府はなかなか遺骨の収容に取り掛かれなかった。この門戸を開いたのがマルコス大統領であり、ルバング島で相当数の住民を殺傷した小野田少尉の恩赦もしてくれた。

福山四一連隊の生還者である永井啓三氏は、昭和48年に政府派遣団の一員として遺骨収容に訪れ、日本大使公邸でト部大使から次のようなエピソードを聞いた。

大統領はゲリラとして日本軍の捕虜となったが、「日本軍がボロボロの服を着て戦っているのを見て、自分は捕われの身であったが日本軍に協力しようと決心した。日本軍のためなら死んでも構わないと思っていた。最後まで戦った日本軍に対して敬服している。」と述べたそうだ。

新市町出身の永井氏は50年前の遺骨収容おいて、自己の使命に対して最善を尽くす事は、他民族に通じ、また国境を越えて万世に輝くものであることを痛感したそうだ。遺骨収容に当たっては、大統領から陸・海・空・警察の四軍と州知事等に命令が出されていたので、各地とも一辺境にいたるまで好意的な協力を得ることができたという。

じつは私もレイテ島タクロバン市を訪問した際にボンボンに会ったことがある。その時の市民の歓迎ぶりは印象深かった。実力は未知数だが、投票率は80％を超え、史上最多の三千万票を得たマルコス新大統領に日比関係におけるさらなる発展を期待したい。

テロワール

山野峡ワイン

経済リポート R4年7月1日号掲載
「祐介の目」

福山駅のコンコースに「兵庫テロワール」というパンフレットが大量に置いてあった。テロワールとは、その地域独自の気候風土を意味するフランス語であり、元々はワインの産地における栽培法等を示す用語であったが、解釈を広げて兵庫県全土が観光資源の宝庫のように表現してあった。ワイン専門用語がいつしか一般的な言葉になった。兵庫を含む瀬戸内沿岸は日照時間が長く降水量も少なく、特に私のワイナリーのある山野町は寒暖の差が大きいので良質なぶどうができる。

全国の農村が消滅の危機にあるが、市内から至近の距離にあり風光明媚な山野峡を有するテロワールを活かして、私は「山野峡ワイン」による活性化に取り組んでいる。実際に住民は減少しているが、町から週末だけ田畑に通う人は多いし、ワイナリーを訪れる人も徐々に増えている。

カルビーの元社長・松尾雅彦氏は農村の連合体による「スマート・テロワール」を提唱している。それは美しく強靭な農村自給圏であり、食料は地産地消、住宅用木材も地元産、電力もバイオマスや小水力により自給できる圏域を目指す構想だ。そもそも山野町には水力発電所があり、薪炭の産地であり、松茸や鮎やぶどうは名産として高値で売れた。まさにスマート・テロワールだった。松尾氏は口だけではなく、ポテトチップスの原料ジャガイモの生産農家2500戸と契約して全国各地の農村を守っている。私のワイナリーも末永く山野町を守る存在でありたい。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した小麦の不足や円安は日本の食糧輸入にも多大な影響を与えるだろう。輸入が無理なら自国で作るしかなく、重商主義から重農主義に転換せざるを得ない。重農主義、すなわち耕作放棄地を再生して米以外の穀物も生産し、山を切り開いて燃料を得た後を牧場とし、河川敷を市民に開放して家庭菜園にするなど、日本の農村を再生してスマート・テロワール化するチャンスと捉えるべきだろう。